学校だより

翔　　空

№１０　平成２４年　６月　１日（金）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空」の由来

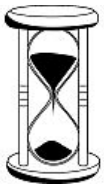
校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◇ すばらしい成果が得られました！サッカー部優勝！（ブロック優勝）
バドミントン部男子ダブルス（渡邊拓也・齋藤竣輔）３位　県中大会出場決定！◇

「皆さん、明日から待ちに待った中体連総合大会です。陸上部は先週、一人一人が自己ベストを尽くし、良い成果を上げました。**３年１組の影山くん**はめでたく**砲丸で３位入賞**を果たし、**県大会出場**を決めています。幸先良くすばらしい成績を残してくれて私も嬉しく思っています。さて、皆さんは、常日頃より部活動において、体と共に心を鍛え、また技術の向上に努めてきました。この日ごろの鍛錬の成果を思う存分発揮すれば、自然と結果もついてくると先生は考えています。しかし、必ずしも自分たちが納得できる結果が出るとは限りません。それでも、自分の持っている力の１００％以上の力を発揮できれば、結果以上の充実感が得られるのではないでしょうか。勝負の世界ですから「結果」も大切でしょう。しかし、結果がすべてではありません。それ以上に大切なのは**『絶対に最後まで、諦めることなくやり遂げる』**こと（その経過）ではないでしょうか。最後の１秒まで粘り強く試合を行ってきてください。」

このように５月２８日〔月〕に行われた中体連の激励会で生徒にお話をしました。この講話をまさに実行してくれたのが上記２チームです。本当におめでとう。最後の１秒まで頑張りましたね。大会当日、私は、市中体連の担当として、サッカー部長を仰せ付かっていて、２日間西部サッカー場に詰めていましたが、何と強敵を次々と倒して、本校のサッカー部の生徒たちが中体連県中大会の切符（ベスト４）をもぎ取ろうと気合いを入れて会場にやってきました。本当に嬉しいの一言でした。また、目の前で、郡山五中を３－１で撃破し、次の郡山三中との試合も最後まで息の抜けない白熱した試合を展開しました。最後の１分間、相手の猛攻を食い止めた場面はさすがに目頭が熱くなりました。（実は、試合終了３０秒前、待ちきれなくて学校には１－０で勝利したとの報告を済ませていたので、逆転されていたらとんでもないことになったのですが。）

木曜日朝の職員打合せでは、大会後の生徒の心の変化を敏感に感じ取って一人一人（心の発達段階に応じて）指導するよう先生方にお願いしました。「勝って兜の緒を締めよ」ではないのですが、勝ったサッカー部とバドミントン部の生徒には、さらに上を目指して気合いを入れて取り組むこと、残念ながら今回勝利を勝ち取ることができなかった残りのチームの生徒には、後輩への適切な引継ぎと指導を行うようお願いしました。「勝利の陰に涙あり」きっと、どのチームの生徒もこれを実感したこと思います。苦しい練習に耐え抜いたからこそ勝ち得た勝利であったと思います。



話変わって、お花を生けて心を和らげるセラピストの方によるボランティアの申し出があり、昨日さっそく本校の文化部の生徒に対してご指導をお願いしました。１年生の橋本唯さんのお母様から「子供たちのために、ご迷惑でなければぜひ文化部の活動にご協力させていただきたい」とのお電話があり、心の教育の視点からも絶好のチャンスと考え、ご指導をお願いしました。顧問の黒羽教頭先生付き添いの下、技術室を利用し、男の子も女の子も一緒になって、楽しくお花を生ける実習を行うことができました。唯さんのお母様に心から感謝申し上げます。また、機会がありましたらお願いします。

衣替えの準備をお願いします。
来週から教育実習生がお願いします。
教育実習生の方もお出でになります。
のかたは３週間の実習となります。

【 英語のことわざ 】＊真理を突いている珠玉の言葉＊

みなさんは腹を割って話し合える友人、親友なる友だちを何人くらいお持ちですか。今回紹介することわざは、よく耳にする**「まさかの友は真の友」**です。困っている時の友だちこそ数えるに値する真の友だちです。そんな親友が一人でも多くいたら本当に助かりますね。

→ ***"A friend in need is a friend indeed."***

直　訳：苦難にあるときの友人は真実の友人である。
読み方：「ア　フレンド　イン　ニード　イズ　ア　フレンド　インディード」（しっかりと韻を踏んだ覚えやすい諺ですね。）